

令和4年度



# 6月 園だより



文京区立根津幼稚園

## たくさんの自然に囲まれて

副園長 野本 和美

天気がよい日が続き、どのクラスも砂場で裸足になって、お団子や山を作ったり水を流したり「気持ちいい」「砂が冷たいね」と言いながら砂遊びを楽しんでいます。砂、水、泥など、直接触れて様々な感触を味わうのにぴったりの気候です。その時期ならではの遊びを大事にしたいです。

ある天気の良い日、根津幼稚園にプロナチュラリストの佐々木洋先生をお呼びして「自然観察会」を行いました。虫、花、葉…幼稚園の中でどんな自然物が見つかるでしょう。子どもたちのみならず、教師も興味津々で参加しました。まず初めに佐々木先生からの虫クイズがありました。「ダンゴムシの足は何本でしょうか」すぐに一人の幼児が「14本!」「正解!でも赤ちゃんのときは12本なんだよ」「では、ダンゴムシのオスとメスの違いは分かる?」これもすぐに「メスは点々の模様がある」の声。「正解!すごい!根津幼稚園の子は自然のこと、よく知っているね」と先生も驚きの表情、お褒めの言葉をいただきました。その後、みんなで弥生の森や花壇の周り、校庭の端までぐるっと散策しました。歩きながら教えていただいたことは・・・

「このミミズはシマがついているから大人だよ」

「外を歩いているアリはみんな女の子なんだ」(オスは巣の中でのんびりしているそうです)

「カラスの羽を飛ばすとくるくる回るよ」実際に飛ばして見せてくれました。

「シジミチョウは人間の目で見ると白いけど、チョウ同士が見るとオスが黒でメスが白に見えるんだ。相手が見つかるようにね」などなど

自然に関するお話を聞く子どもたちの目はきらきらと輝いていました。もちろん大人も。知らないことを知るととても楽しいものです。部屋の中での質問コーナーでもたくさんの質問に答えてもらい、たっぷり自然のことを学んだ一日でした。

今回、教えていただきながら思ったのは、幼稚園は思った以上にたくさんの自然に囲まれているということです。意識して自然物を探すと、こんなに見付かるのだということを実感しました。これからも、教師の探す目を養いながら、子どもたちとともに、たくさん発見し、その不思議さに驚いたり楽しんだりする経験を積み重ねていきます。

